

1571

明治二十九年一月二十九日
 陸軍大臣 大藏大臣 海軍大臣
 文部大臣 逓信大臣 農商務大臣
 司法大臣 法制局長官
 内閣總理大臣 甘文

大正四二一

明治二十九年一月二十九日

明治二十九年一月二十九日

明治二十九年一月二十九日

内閣總理大臣 甘文

法制局長官 甘文

外務大臣 望

大藏大臣 望

海軍大臣 望

文部大臣 望

逓信大臣 望

内務大臣 望

陸軍大臣 望

司法大臣 望

農商務大臣 望

農商務大臣 望

別紙大藏大臣請議貴衆兩院送付復族
 祿及祿高處分ニ關スル件ヲ審査スル
 ニ各請願者ノ陳述スル所多少ノ差異
 アリト雖要スルニ曩キニ受ケタル官

四

明治二十九年一月二十九日

廳ノ處分ヲ不當トシ族祿ノ授賜ヲ請
求スルモノナレトモ何ニ依リテ之ヲ
不當トスルヤ其證左確實ナラス且其
祿高處分ニ關シテハ明治九年第百二
十三號布告及明治二十七年法律第二
十號ヲ以テ既ニ結了セシモノナレハ
今日之ヲ採用スヘカラサルモノナリ
ト云フニ在リテ至當ノ儀ト思考スレ
ハ請議ノ通閣議決定相成可然ト認ム
指 令 案

貴衆兩院送付復族祿及祿高處分ニ
關スル請願ノ件ハ請議ノ通

追フ復族ノ件ハ内務大臣ノ主管
ニ屬スト雖復祿ニ關スル件ハ至
急ヲ要スル趣ナルニ付先以復祿
ニ關シテ閣議ヲ決定セラレ復族
ニ付テハ更ニ内務大臣之意見ヲ
徵セラレ可然ト認ム

内務省通牒集

第八回帝出議會ニ於テ願意ノ大體ニ採擇ス
一キモノト決議政府ニ送付セシ復族祿ノ関ス
ル各種ノ清願書ニ當時貴省ノ大藏省ニ回送
相成日處者清願書ノ福ノ関ノ部分ニ就キ今
般別紙稿録ノ通函^{ツカサシ}ニ提出相成奉リ清願
ノ通ニ指令相成猶復族ノ件ニ付^{ツカサ}左ノ通函
議決定^ニ成^ニ此段乃^ニ通牒^ノ也

明治廿九年二月十二日



吉田芳子

復族ノ件ハ内務大臣ノ主奏ニ屬スト雖復
祿ニ關スル件ハ主奏ヲ受スル趣キハ先以テ
復祿ニ關シテ國政ヲ決定セラル復族ニ付
更ニ力切ナリノ意見ヲ徴セラル可然ト恐ム

参照

○明治九年第三十九号布告

各府縣貫屬等ノ内任前番代ノ節抱替等ノ
祿ニテ其俸等ノ祿高ヲ倍テ自世襲ノ途ニ相
成居候方ハ自今士族ニ可被仰付候条調書ヲ以
大藏省ニ可提出セ家祿ノ儀ハ従前ノ通可相心
得事

但新規一代限抱ノ輩ハ平民ニ復祿セシメ倍祿
ハ是迄ノ通可遺事

○明治九年第三十九号布告

明治二年三月三十一日限り可申出右期限後
直に領ノ得付年三月三十一日限り可申出右期限後
一切採用不致官署告候處申後録為同ノ種々
願出候向又有之候處其申年申付ハ号者及
テ録別改定候ニ付總テ現存ノ公置シテ定度ト
シ如何様ノ申付有之候一切採用不致候事此旨
更ニ布告候事

明治七年法律第二十号

第一條 明治三年九月十日布政官布告滿額施行
ハ同九年一月太政官布告百八号布告宣稱コテノ同

ニ於テ國事ニ關スル犯罪ノ為家祿喪失録ヲ沒收
セラレタル者及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名健
在タル人及之限リ其ノ沒收セラレタル當時ノ祿高ニ
基キ明治九年太政官布告百八号布告第一條ノ再
ニ檢リタル家祿公債証券額ニ相當之人を補フ一時
國庫引出シテ之ヲ給ス

第三條 第一條ニ依リ給テ受ケタスル者ハ國事ニ
關スル犯罪ノ處刑ヲ宣告セラレタル裁判所其
ノ事務引継テ受ケル官廳ヨリ本法第四條ノ記
定及收録ニ任シ証明書ヲ受ケ地方廳ニ出願

スレバ但し本迄施行ノ日ヨリ三箇月内ニ
及認明ヲ付スル又ハ認明及認明ヲ受ケル日ヨリ
一箇月内ニ出願ヲ為サシ者ハ第一案ノ付与ヲ
受クルコトヲ得ス

官局第二四九号 三月廿九日

九九六号

金祿公債證書下付ノ請願ニ関スル提議

三重縣安濃郡神戸村

平民

大久保新左衛門

外千七十名

同縣同郡櫛形村

平民

永合藤治郎

外六十六名

請願ノ要領

請願人等ハ

舊藤堂藩數代

世襲ノ者或ハ世襲ノ姿ヲ為セシ者ニ非サレハ元

拔群有功隊兵士或ハ有功隊兵士ニシテ共ニ士

族ニ列シ永世禄ヲ享クキ資格アル者ナル
ニ廢藩後故ナク民籍ニ降シ家禄ヲ沒收
セラレタリ依テ明治六年以來屢々歎願スル所アリ
シモ採用セラレス然ルニ旧名古屋藩卒ニ對シ
族禄復舊セラレ且ツ國事犯罪者ニ特別給與
金下付ノ特典モ有之ニ付族禄ノ復舊ヲ請フト
謂フニ在リ

島根縣松江市雜賀町

平民

安達 善 平

外二百三十四名

請願ノ要領 請願人等ハ旧松江藩ノ歩卒ニシテ
其資格士族ニ列シ永世禄ヲ給セラルヘキニ願

籍奉還ノ際當局官吏ノ錯誤ニ因リ民籍ニ
降シ家禄ヲ沒收セラレタリ依テ其族禄ノ復
舊ヲ請フト謂フニ在リ

愛媛縣越智郡今治町

平民

黒川 榮 造

外五十四名

同縣和氣郡新濱村

平民

武市 雅 太

外二百五十九名

同縣新居郡角野村

平民

原 宇右衛門

外七十六名

同縣同郡關前村

平民

大野 半治

外三十五名

請願ノ要領 請願人等ハ旧松山藩世襲ノ卒

ナルニ明治三年五月解隊終身扶持ヲ給セラレ、
旨令達セラレタルニヨリ其所置ノ不當ナルヲ申立
中幸ヒニ該令達ハ一時廢棄ニ歸セシモ同年十
一月更ニ一般卒ヲ廢シ給祿ヲ沒收シ五ヶ年
限ニ人扶持ヲ給与スルノ命アリ然レニ旧各藩
ノ卒一般士族ニ編入ノ公布アリシ際他ノ卒ハ

總テ族祿復舊ノ恩命ヲ蒙リタルモ請願
人等ノ同列ニ限リ其恩典ニ浴セス其後屢々
歎願スル所アルモ採用セラレサリシヲ以テ族祿
ノ復旧ヲ請フト謂フニ在リ

福岡縣夜須郡秋月町

平民

井上 新助

外八十九名

同上

平民

川上 吉兵衛

外三十六名

請願ノ要領 請願人等ハ旧秋月藩主ニ仕ヘ扶持

米ヲ受ケ數代忠勤シ譜代ノ者ナルニ明治三
年十一月突然何等ノ罪科ナク族祿共ニ没
収セラレタリ然ルニ同格ノ者ニテ同五年後復族
祿ノ恩典ヲ蒙リタル者アルニ依リ其筋へ哀願
セシニ同十七年八月ニ至リ授産金トシテ金若
干ヲ下付セラレシモ累世ノ餘風營利ノ業ハ其
ノ長スル所ニアラス忽チ失敗シ再ヒ事業ヲ繼
續スルノ資力ナリ困難ニ陷リタルヲ以テ族祿
ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

熊本縣球摩郡免田村

平民

森山岩次郎

外百十四名

請願ノ要領

請願人等ハ旧人吉藩ニ於テ水

主ト稱シ専ラ船手ノ奉公ニ從事シ且ツ官設
ノ稽古場ニ於テ武藝ヲ練習シ一種ノ藩士ニ
シテ其嗣子家督スル時ハ七歳未滿ノ者ト雖モ
技藝ノ巧拙ニ關セス仍ホ二人扶持切米四石
六斗八升併セテ八石貳斗八升ノ家祿ヲ相續
セシ者ナレハ士族編入ノ上永世祿ヲ賜ハルヘキ資
格アル者ト確信セシニ當時八代縣主任官ノ
疎漏ナル調査ヲ以テ誤謬處分ヲ受ケタルニ
ヨリ復族ノ上永世祿ニ相當スル金祿公債元
利ノ恩賜ヲ請フト謂フニ在リ

滋賀縣滋賀郡膳所村

平民

小林 清次

外百五十九名

請願ノ要領

請願人等ハ旧膳所藩世襲ノ卒

ニシテ甲子ノ役及奥羽ノ戦争ニ於テ勤勞アル者ナレハ明治五年第二十九号布告ニ據リ士族ニ列シ公債証書ヲ受クヘキニ當路有司ノ所置其當ヲ得ス他ノ同格者ハ士族ニ編入シ家禄ヲ給セラレシニ獨リ請願人等ハコノ恩典ヲ蒙ラサルヲ以テ滋賀縣廳ヘ請願セシニ何ソ圖ラン明治十年四月中總代山中梢外三名ヲ拘引シ同年八月マテ繫獄セラレ同人外一名ハ出獄ノ後遂ニ死亡スルモ爾來出願再三ニ止マラスシテ荏苒今日ニ至レリ依テ他ノ同格者ト同シク

族禄ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

愛媛縣越智郡今治町

平民

矢野 伴 篤

外七十六名

請願ノ要領

請願人等ハ旧今治藩世襲ノ卒

ニシテ數代連綿藩務ニ從事シ廢藩置縣ノ際解放セラレシモ士族編入ノ上永世禄ヲ下賜セラルヘキ身分ニシテ除族廢禄ハ藩吏ノ調査疎漏ナリシニ因ルヲ以テ爾來引継キ歎願セシモ採用セラレス依テ其ノ族禄ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

福岡縣夜須郡栗田村

平民

高瀬彌十郎

外十名

請願ノ要領 請願人等ハ旧秋月藩世襲奉仕ノ者ニシテ明治二年卒ニ編入セラレシニ廢藩置縣ノ後藩吏ニ於テ殘務取扱中職權外不當ノ處分ヲ爲シ族祿ヲ併セ失ヘリ依テ同五年以降數回出願スル所アリシモ採用セラレス同十五年七月ニ至リ授産金若干ヲ下賜セラレタルハ嘗テ請願セシ事ノ全ク理ニ戾ル所ナケレハナリ而シテ旧格式上ニ於テモ士族トナリ金祿ノ恩賜ヲ蒙ルヘキモノナルヲ以テ復族祿ヲ請フト謂フニ在リ

兵庫縣揖西郡平井村

平民

伊藤儀三郎

外十三名

請願ノ要領

請願人等ハ旧龍野藩譜代ノ

卒ニシテ王政維新ノ際各藩ヨリ祿高ニ應シ

徴兵トシテ差出スヘキ旨軍務官ヨリ達セラレ

御所警衛中仁和寺宮ニ隨ヒ越後及會津

等へ從軍シ歸京ノ上休暇ヲ賜ハリ尋テ歸

農命セラレシ者ナレハ士族編入ノ上復祿セラレ

シコトヲ請フト謂フニ在リ

以上貴衆兩議院へ請願

三重縣一志郡戸木村

平民

富永門治

外五十八名

同縣同郡久居町

平民

牛場重兵衛

外三百九名

同上

平民

前田半七

外一名

同縣奄藝郡明村

平民

林喜兵衛

外十一名

同上

平民

楠井多平

外二十四名

同縣津市勢崎町

平民

高士竹太郎

外百三十一名

同縣安濃郡安東村

平民

山路丈太郎

請願ノ要領

外一名

請願人等ハ旧久居藩世襲ノ卒ニシテ應分ノ家禄ヲ有シタル者ナレハ士族ニ列シ永世禄ヲ享クヘキニ廢藩置縣ノ後當局官吏ノ所置其ノ當ラ得ス各々身分ラ民籍ニ降シ家禄ヲ沒收セラレタリ依テ明治五年第二十九号公布ニヨリ他ノ卒同様士族ニ編入シ之レニ伴フ家禄ノ復給ヲ請フト謂フニ在リ

愛媛縣越智郡今治町
平民

光 藤一

請願ノ要領 請願人等ハ旧今治藩ニ於テ祖先以來族禄世襲ノ者ナリシニ明治四年東京遊

學中有罪ノ廉ヲ以テ族禄ヲ沒收シ閑居中付ラレタリ然レモ毛頭犯罪ノ所為アリシラ覺ヘサルノミナラス同藩武田某外若干名ノ如キハ多少ノ罪跡アリシニモ係ハラヌ明治十六年誤刑ヲ改正セラレ復禄ノ恩典ヲ蒙リ且他ニ事實同一ノ願旨採納セラレタル例モ之レ有ルニヨリ族禄ノ復旧ヲ請フト謂フニ在リ

石川縣金澤市
平民

石川 久三

外千百十五名

請願ノ要領 請願人等ハ旧金澤藩世襲ノ家臣ニシテ士族ニ列シ永世禄ヲ給セラルヘキ資格アル

者ナルニ明治五年藩吏ノ錯誤ニ由リ身分ヲ民
籍ニ降シ且給米ヲ傳メラレタリ其後屢々出
願スル所アルモ遂ニ採用セラレス依テ士族ニ編
入シ明治六年ヨリ公債處分マテノ金祿ノ追給
及旧家祿ニ相當スル金祿公債証書ノ下付ヲ
請フト謂フニ在リ

德島縣名東郡加茂村

平民

後藤 伊三郎

外十二名

請願ノ要領

請願人等ハ旧德島藩ニ於テ世襲
數林目付役ヲ奉仕シ相當ノ扶持米及祿高
ヲ有シタルヲ以テ其家格當サニ士族ニ列シ家

祿ヲ享有スニキニ明治四年身分ヲ民籍ニ
降シ從前ノ扶持米及祿高ヲ沒收シ一時手
當トシテ正米若干ヲ下付セラレタリ然ルニ同資
格ノ者ニシテ士族ニ列シ公債証書ヲ下付セラレ
タル例アルヲ以テ請願人等ニ於テモ族祿ノ復旧ヲ
請フト謂フニ在リ

茨城縣結城郡結城町

平民

小谷野貞吉

外十一名

請願ノ要領

請願人等ハ旧結城藩士ニシテ明治
元年藩論分裂ノ際順逆ヲ誤リ翌年刑法
官ニ於テ自定謹慎ノ處刑ヲ受ケ爾來三年

間獄舎ニ繋カレ同四年廢藩置縣ノ令出ツ
ルヤ一同族祿ヲ沒收シ歸農申付ラレタリ其
後屢々出願スル所アルモ採用セラレス然ルニ明
治廿七年法律第二十号ヲ以テ國事ニ関スル
犯罪ノタメ諸祿ヲ沒收セラレタル者ニ特別給与
金下付ノ件發布アリシモ遂ニ出願期限ヲ經
過シ該恩典ニ与ル能ハサルヲ以テ復族祿ヲ
請フト謂フニ在リ

岩手縣盛岡市大工町

平民

桐野 興教

外百四十五名

請願ノ要領 請願人等ハ舊盛岡藩譜代ノ

卒ニシテ士族ニ列シ永世祿ヲ享クニキ資格ア
ル者ナルニ明治三年家祿ヲ沒收シ民籍ニ降サ
レタリ其後屢々出願スル所アルモ遂ニ採用セラレ
ス然ルニ今ヤ國事犯罪者ニシテ猶恩典ヲ蒙
ル場合ナルヲ以テ其情狀ヲ查察シ族祿ヲ復
舊セラレタシト謂フニ在リ

三重縣伊賀郡花垣村

平民

淺井 庄三郎

外三十名

同縣阿拜郡上野町

平民

富増 郡兵衛

同上

平民

田中久治郎

外十一名

同縣津市萬町

平民

佐脇善右衛門

外二十六名

奈良縣添上郡東市村

平民

児玉

作

外十六名

請願ノ要領

請願人等ハ舊津藩譜代及世

襲ノ家臣ニシテ明治二年藩制改革ノ際卒ト

ナリ應分ノ家祿ヲ有シタリシニ廢藩置縣後

當分官吏ノ錯誤ニ因リ族祿共ニ廢除セ

ラレタリ然ルニ明治五年第二十九号公布ニ依

ルトキハ士族ニ列シ永世祿ヲ享クヘキ資格アル

ヲ以テ他ノ實例ニ照シ士族ニ編入シ金祿公債

證書ノ下付ヲ請フト謂フニ在リ

島取縣島取市

平民

山本 幸男

外十五名

請願ノ要領

請願人等ハ舊島取藩世襲奉

仕ノ者ニテ士族ニ列シ家禄ヲ享クヘキニ廢藩置縣ノ際故ナク族禄ヲ併セ失ヘリ依テ士族ニ編入シ家禄ヲ復給セラレタレト謂フニ在リ

兵庫縣揖西郡龍野町

平民

森田 桂藏

外百三十一名

請願ノ要領

請願人等ハ舊龍野藩譜代ノ卒ニ

シテ王政維新ノ際戰功アル者ナルニ係ハラヌ明治三年藩吏ノ錯誤ニ因リ故ナク族禄ヲ廢除セラル依テ其後出願スル所アリシモ採用セラレヌ然ルニ之レヲ明治五年第二十九号公布及ヒ他藩ノ例ニ照ラストキハ士族ニ列シ相當ノ家禄ヲ給

セラルヘキ資格アルヲ以テ其ノ族禄ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

愛媛縣越智郡今治町

平民

天野 平造

同上

平民

楠岡 龜太郎

外一名

同上

平民

大森 駒太郎

外十六名

同縣宇摩郡三島村

平民

真鍋 一雄

外九名

請願ノ要領 請願人等ハ舊今迄藩元士族及卒

ニシテ各自應分ノ藩務ヲ奉シ其ノ職任ヲ盡セ

シ者ニシテ明治三年故ナク族祿ヲ廢除セラレ然

ルニ之レヲ他ノ例ニ照スニ士族ニ列シ永世祿ヲ享

クキ資格アルヲ以テ其後出願スル所アルモ採

用セラレス依テ族祿ノ復舊ヲ請フト謂フニ在

リ

群馬縣邑樂郡渡瀬村

平民

大塚 覺次郎

外二十九名

請願ノ要領

請願人等ハ舊館林藩、郷足輕長

柄組ニシテ城主松平右近將監及井上河内守及

秋元但馬守等へ歴仕シ若干ノ祿ヲ受ケ廢

應三年騷擾ノ際ニ於テモ新撰隊へ編入

王事ニ勤勞セシ者ナリシニ明治三年十一月解

隊ノ上歸農命セラレタリ其後廢藩置縣ノ

際秋元家譜代ノ家臣ハ士族ニ編入シ祿券ヲ

下賜セラレタルモ請願人等ハ藩吏ノ取調疎漏

ニ因リ士族編入洩レト相成タルヲ以テ其ノ族

祿ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

兵庫縣津名郡鮎原村

平民

高津 雅雄

外三十五名

徳島縣徳島市

平民

乾 駿太郎

外三十四名

請願ノ要領

請願人等ハ舊徳島藩ノ陪臣ニシ

テ祖先以來世襲ノ家柄ヲ以テ武役其ノ他ノ勤務ニ服ニ譜代同一ノ待遇ヲ受ケタル者ナレハ士籍ニ列シ俸祿ヲ給セラルヘキニ維新ノ際官廳ノ誤調ニ因リ家祿ヲ沒収シ民籍ニ降サレタルヲ以テ其後屢々出願スル所アルモ採用

セラレス依テ其ノ族祿ノ復舊ヲ請フ謂フニ在リ
以上貴族院へ請願

廣島縣沼田郡三篠村

平民

橋本 善平

外八百九名

請願ノ要領

請願人等ハ舊廣島藩ニ於テ

定小人ト唱ヘ明治四年舊藩政務ヲ縣廳ニ引渡サレシ後縣廳ヨリモ其祿ヲ給與セラレ即ケ永世祿ナルコトハ明瞭ナリシニ明治六年突然廢祿セラレタリ依テ同七年以降引續キ數十回出願スル所アルモ採用セラレサルヲ以テ族祿共ニ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

德島縣名東郡八万村

平民

水口 正平

外十四名

請願ノ要領

請願人等ハ舊蜂須賀阿波守

ニ召仕ハレ御小人ト稱シ扶持米若干ヲ受ケ士
列ニ在リシ者ニシテ伏見ノ役本藩ヨリ支族
蜂須賀飛彈守ニ附人トシテ貸與セラレ同輩
二百餘名ハ本藩ニ於テ親衛隊トナリタリ
而シテ藩廳ニ於テ士民ノ分畧ヲ立ツルニ方リ
誤隊ノ者ハ士族トナリ不在ノ者ハ支族ニ於
テ解除ノ際一時金ヲ下付セラレシノミナリ故
ニ其不當ヲ中立タルモ願意未タ貫徹セス

全ク當時有司ノ誤謬處分ニ出テタルモノ
ナレハ其族祿ノ復舊ヲ請フト謂フニ在リ

朽木縣安蘇郡植野村

平民

恩田 輪平

外四十九名

請願ノ要領

請願者及其祖先ハ舊佐野藩

ノ五十組ト稱シテ召抱ヘラレ既ニ三代ニ及ヒ
タル者モ有之戊辰前後王師ニ從ヒ各所ニ
激戦シ藩主ノ約束アリテ給人格ニ上ルニキ
ニ一朝歸農ヲ命セラレタル者ニテ明治七年
四月舊藩官吏取扱ノ過失ナルコトモ已ニ明
瞭シタレハ復族祿ヲ請フト謂フニ在リ

熊本縣球磨郡川村

平民

福田真佃

外六十三名

請願ノ要領

請願人等ハ舊人老藩ニ於テ水

主ト稱シ専ラ船手ノ奉公ニ從事シ且ツ官設
ノ講武場ニ於テ武藝ヲ練習シ其格式待遇
士族ト異ナラス且世襲祿トシテ二人扶持切米
若干ヲ給セラルシニ明治五年九月ニ至リ民籍ニ
降シ家祿ヲ沒收セラレタリ之レヲ他ノ倒ニ
照スニ士族ニ列シ永世祿ヲ享クニ資格アル
者ナルヲ以テ其族祿ノ復舊ヲ請フト謂フ
ニ在リ

廣島縣沼田郡西原村

平民

梶岡政七郎

外三百十八名

請願ノ要領

請願人等ハ舊廣島藩ニ於テ明

治二年版籍奉還後卒ト唱ヘ家祿ヲ享
有セシ者ナルヲ以テ明治五年太政官第二十九
号公布ニ依リ士族ニ編入セラルヘキニ當局者ノ
誤調ニ因リ世襲ニ非サルモノト認メラレ有祿
平民ト稱スルコトナリ次テ從來ノ秩祿奉還
ノ嚴命アリ一時ニ四ヶ年分ヲ下賜セラレタルヲ
以テ爾來復籍ヲ出願ヲ為スモ毎ニ拒絶セラ
レ未タ意志貫徹セラルニヨリ士族ニ編入ノ上一

般士族カ受ケシ公債ノ例ニ準シ曾テ下賜セラ
レタル秩祿公債ノ金額ニ引継キ下付セラシコ
トラ請フト謂フニ在リ

兵庫縣揖東郡林田村

平民

藤井 庄五郎

外六十七名

請願ノ要領

請願人等ハ舊林田藩卒ニシテ

明治三年藩制改革ニ方リ當時ノ有司政府ノ
布告ヲ誤解シテ一般卒ニ其ノ族祿ヲ奉還
セシメ農ニ歸セシメタリ然レ氏其還祿ハ請願者
等ノ意ニ非サルノミナラス明治九年第百二十三
号公布以後復祿ノ恩典ヲ蒙リタル者アルヨ

リ其ノ秩祿ヲ復シ併セテ士族ニ編入セラレシコ
トラ請フト謂フニ在リ

以上衆議院へ請願

前記ノ請願ハ第八帝國議會ニ於テ願意

ノ大倅ハ採擇スヘキモノト決議シ政府ニ送付
相成タルモノニシテ其陳述スル所各々多少ノ
差異アリト雖モ要スルニ曩キニ受ケタル官廳ノ
處分ヲ不當トシ族祿ノ授賜ヲ請求セルモ
ノニ關ス

依テ祿ニ關スル部分ニ就キ之レヲ調査スルニ
其不當トスル處分ハ多クハ舊藩ノ處分ニ屬
シ其ノ事跡追究スルニ由ナリ或ハ稀ニ明治
四年後ニ係ル處分アリト雖モ何ニ依リテ之

レラ不當トスルヤ其證左確實ナラス而シテ一方ニ
於テハ明治九年第百二十三号布告ノアルヨリ
當時ノ處置ニ確定不動ノ効力ヲ與ヘ以テ一
般ノ公債處分ヲ結了セシモノニシテ明治十年
後若干ノ者ニ公債證書ヲ下付シタルカ如キハ
全ク一時特別ノ處分ニ屬シ今日ニ在テ之レ
ヲ再ヒスヘカラサレハ本願ノ引例トナスヲ聽サス
前述ノ理由ナルヲ以テ請願ノ旨趣ハ何レモ採
用スヘカラサルモノト認ム依テ内閣官制ニ據リ
之ヲ閣議ニ提出ス

明治二十八年十二月廿八日

大藏大臣子爵渡邊國武



内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

追テ三重縣平民森島建之助外二十四名ヨリ
請願ニ係ル家祿復舊ノ件ハ本年一月
十九日閣議濟ノ分ト同一ニ付更ニ閣議ニ
提出セス先閣議決定ノ主旨ニ據ル
別紙書類ハ閣議濟ノ上御返付ヲ乞フ

大甲四二二

明治二十九年一月二十九日

内閣總理大臣 甘文

法制局長官

外務大臣 望

大藏大臣

海軍大臣

文部大臣 望

逓信大臣

内務大臣

陸軍大臣

司法大臣

農商務大臣

黒田清成

別紙大藏大臣請議貴衆兩院送付祿高處分ニ関スル請願ノ件ヲ審査スルニ各請願者ノ陳述スル所多少ノ差異アリト雖要スルニ復族ノ結果トシテ復祿ヲ求ムルモノ明治二十七年法律第